

2025年3月期

第1四半期 決算説明資料



JTP 株式会社

Connect to the Future

2025年8月13日



© JTP Co., Ltd. All Rights Reserved.

I. 事業概要





JTP 株式会社

所在地

東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー14F

設立

1987年10月31日

社員数

470名（2024年4月1日時点）

事業内容

ICTシステム構築・保守 / 医療機器の輸入販売・保守 / 海外ITメーカーアウトソーシング / AIサービス開発

拠点

東京 / 大阪 / 福岡 / インド・デリー

上場市場

東証 スタンダード





Outsourcing Business

ICT関連の技術サポートと
医療機器・分析機器メーカ
の日本市場のサポート

Solution Business

アウトソーシング事業で
培った知見を
自社サービスとして提供

事業概要



➡➡ 4つのセグメントで事業を運営

デジタルイノベーション

■ 人財育成コンサルティング

- 人財育成事業
- IT技術の学習プラットフォーム (Learning Booster)

■ セキュリティ

- 内部脅威対策
セキュリティ事業

■ DX開発

- ThirdAI (サードアイ) を始めとするAI事業
- ソフトウェア開発事業

ICT

■ システム構築

- ICTシステムの設計・構築事業

■ システム運用

- ICTシステムの運用・保守事業
- リモート運用サービス (Kyrios/キリオス)

ライフサイエンス

- 医療機器事業
- 化学分析機器事業
- ライフサイエンス分野のICT事業

その他 (海外)

- 海外事業
- グローバルIT人財マッチングサービス「Reinforce HR」

※2024年3月期より新事業セグメントへ変更



主なサービス概要



代表的なサービスとターゲット

	対象セグメント	サービス概要	ターゲット顧客
LearningBooster (ラーニングブースター) 	デジタルイノベーション ■ 人財育成コンサルティング	IT未経験者向け ITラーニング プラットフォーム	IT系派遣会社 (非IT業界からIT業界で活躍を 目指す人財向け)
Kyrios (キリオス) 	ICT ■ システム運用	クラウド環境向け トータルサポートサービス	クラウド環境を利用するあらゆる企業 (特に中堅企業へ注力)
ReinforceHR (レインフォースエイチアール) 	その他 (海外) ■ 海外事業	グローバル IT人材紹介サービス	IT人材不足に悩む 企業規模問わず 国内企業全般
ThirdAI (サードアイ) 生成AIソリューション 	デジタルイノベーション ■ DX開発	生成AI 導入サービス	デジタルトランスフォーメーションを目指す 国内大手企業 ・ 地方自治体
内部脅威対策 セキュリティ 	デジタルイノベーション ■ セキュリティ	社内からの機密情報の 持ち出し等を監視	国内大手企業

売上高構成比



その他（海外）

売上高構成比 **0.0%**

デジタルイノベーション

売上高構成比 **24.3%**

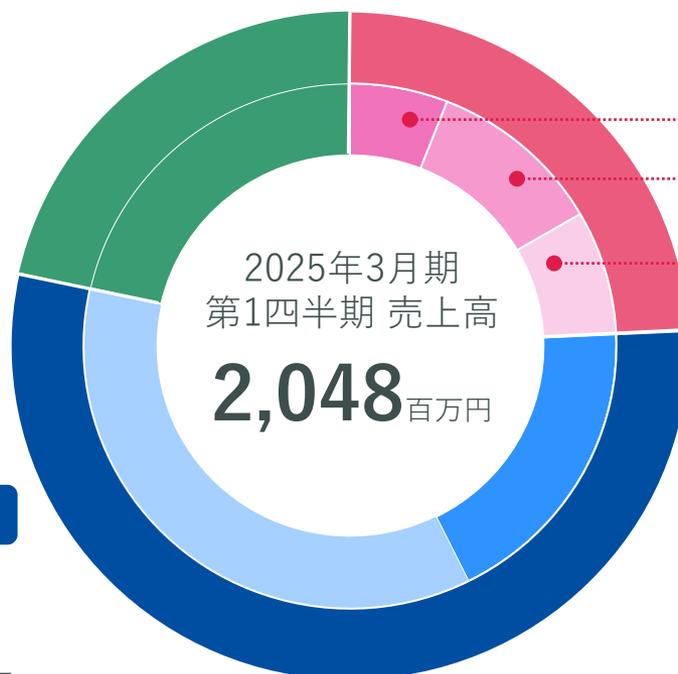
ライフサイエンス

売上高構成比 **21.5%**

ICT

売上高構成比 **54.2%**

■ システム構築 ■ システム運用



※2024年3月期より新事業セグメントへ変更

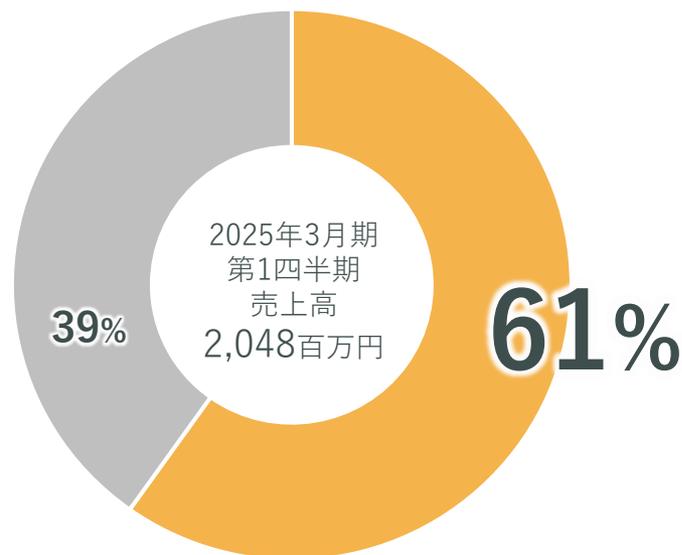
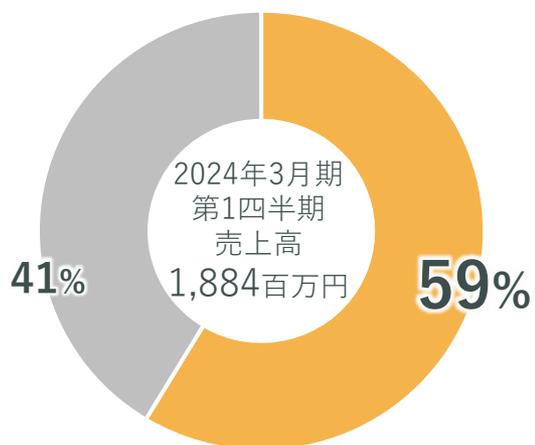


ストック型・フロー型ビジネス



ビジネスモデル別構成比

- ストック
- フロー





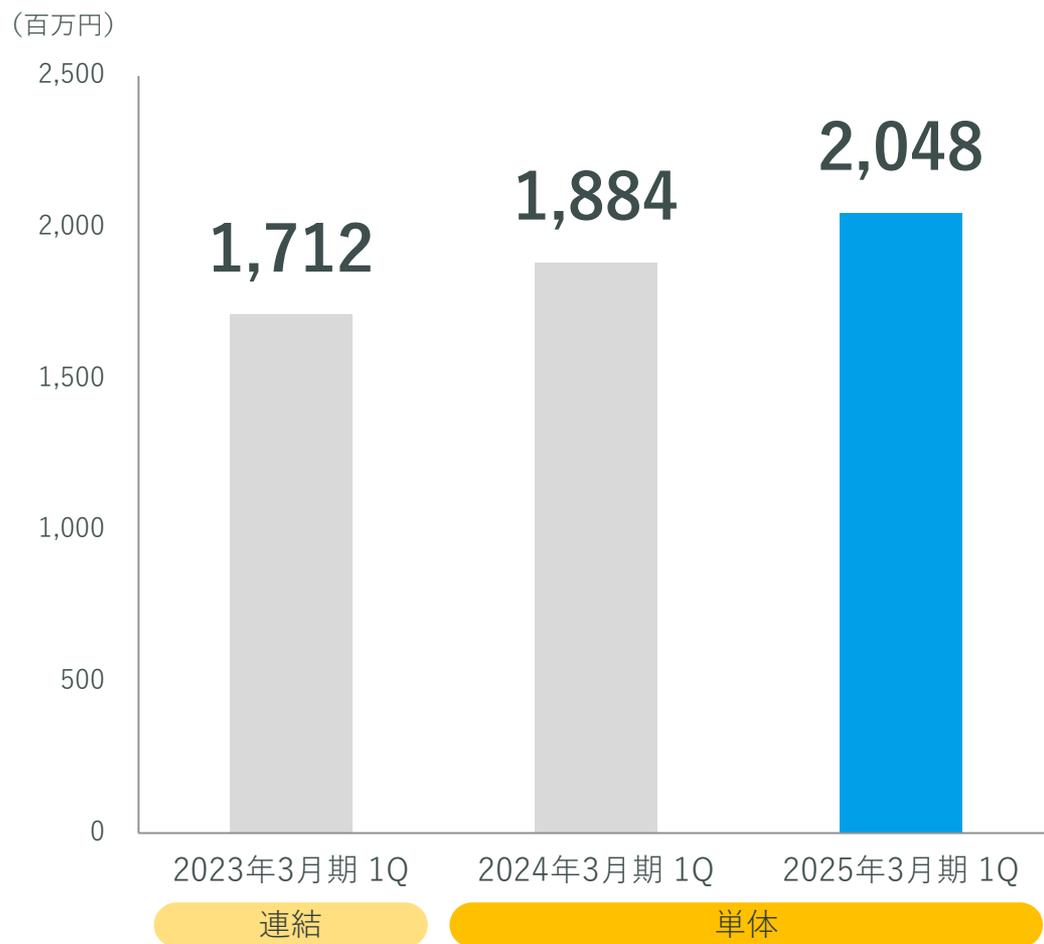
Ⅱ. 2025年3月期 第1四半期 決算実績

2025年3月期 第1四半期 決算のポイント



- ✓ AI/クラウド/セキュリティを中心とした企業のDX関連のIT投資ニーズが継続
- ✓ 売上高では、セキュリティサービス、システム構築サービスが牽引
- ✓ 営業利益では、システム構築サービス、システム運用サービスが牽引

売上高

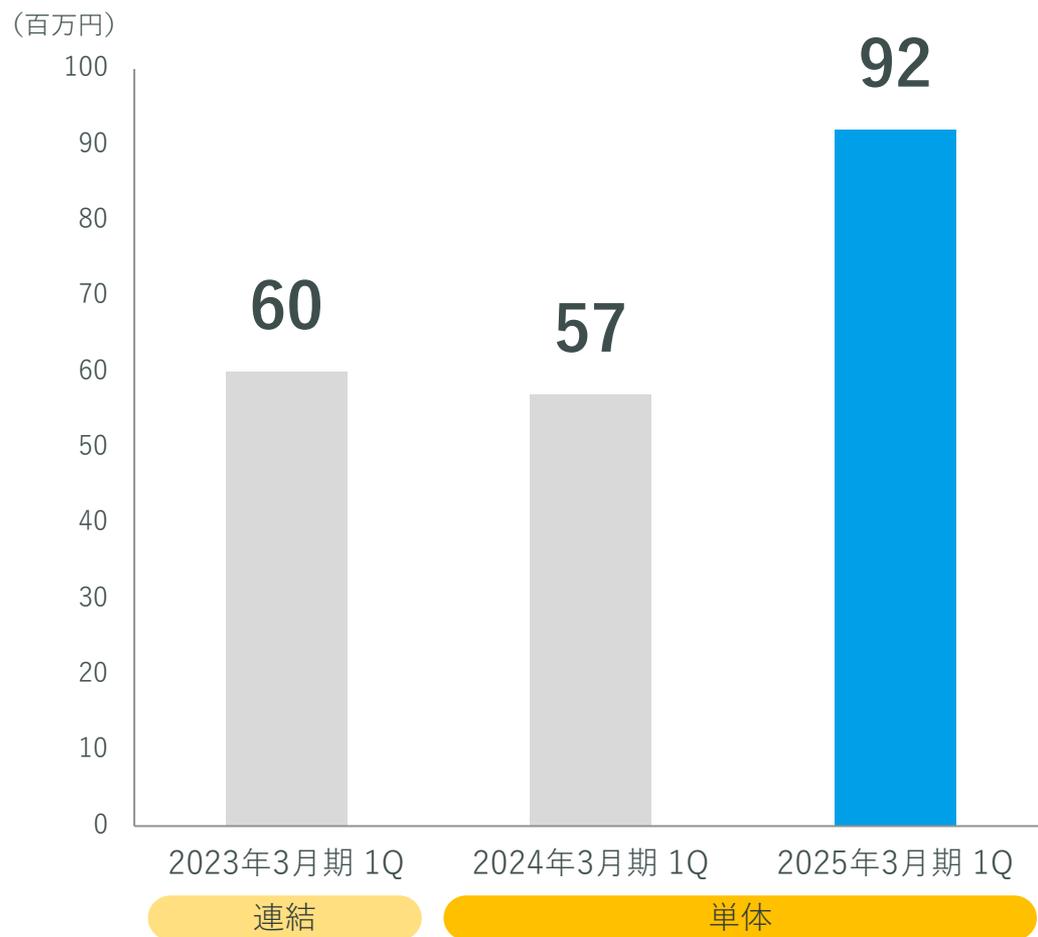


8.7%増収

※当社は2024年3月期より単体財務諸表となっておりますので、参考比較となります



営業利益

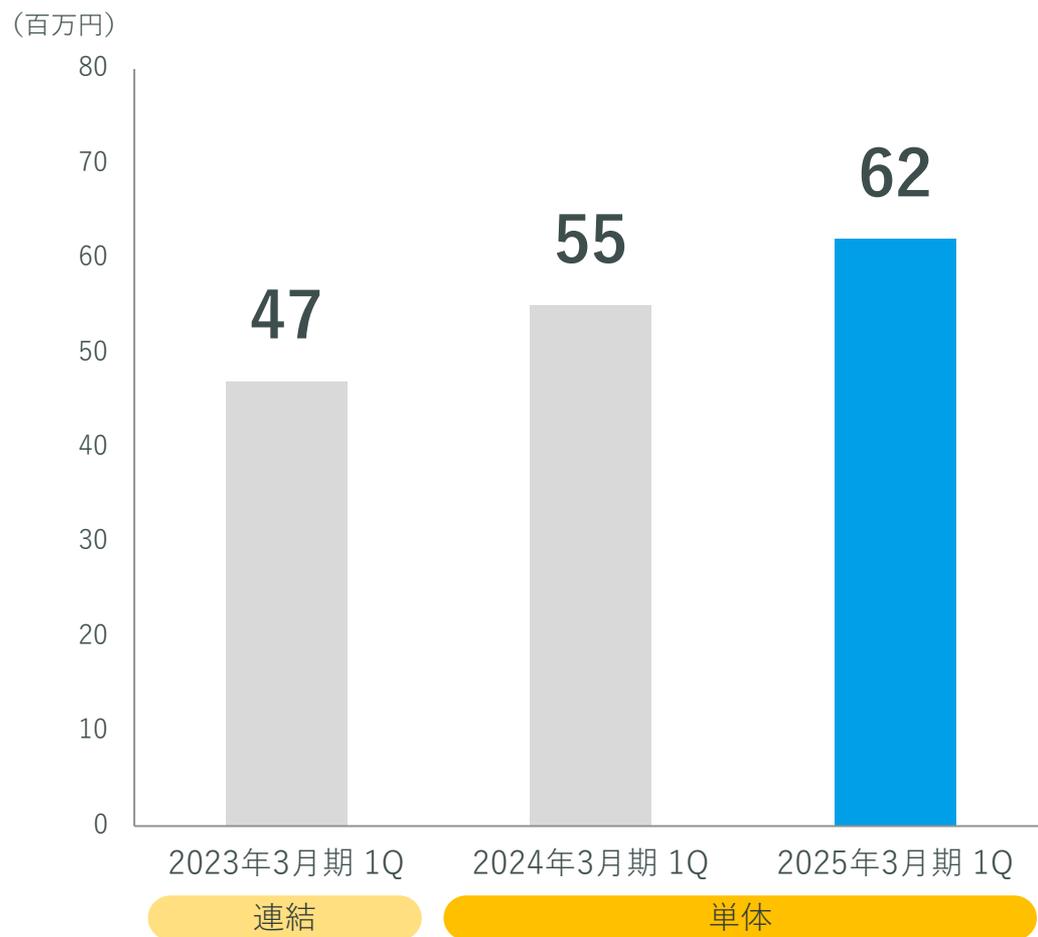


60.3%増益

※当社は2024年3月期より単体財務諸表となっておりますので、参考比較となります



四半期純利益



12.7%増益

※当社は2024年3月期より単体財務諸表となっておりますので、参考比較となります



2025年3月期 第1四半期 決算サマリー



(単位：百万円)

	2024年3月期	2025年3月期			
	第1四半期	第1四半期		通期	
	実績	実績	前年同期比 (%)	業績予想	達成率 (%)
売上高	1,884	2,048	+8.7%	8,722	23.5%
営業利益	57	92	+60.3%	680	13.5%
経常利益	68	98	+44.7%	680	14.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	55	62	+12.7%	490	12.7%

各事業セグメント売上高

(単位：百万円)		2024年3月期	2025年3月期			
		第1四半期	第1四半期		通期	
		実績	実績	前年同期比 (%)	業績予想	進捗率 (%)
デジタル イノベーション	人財育成 ソリューション	123	121	△1.7%	619	19.5%
	セキュリティ	143	218	+52.2%	1,025	21.3%
	DX開発	117	157	+33.3%	697	22.5%
ICT	システム構築	332	376	+13.3%	1,643	22.9%
	システム運用	741	734	△0.9%	2,949	24.9%
ライフサイエンス		425	439	+3.3%	1,722	25.5%
その他		0	0	0%	63	0%
合計		1,884	2,048	+8.7%	8,722	23.5%



各事業セグメント営業利益

(単位：百万円)		2024年3月期	2025年3月期			
		第1四半期	第1四半期		通期	
		実績	実績	前年同期比 (%)	業績予想	進捗率 (%)
デジタル イノベーション	人財育成 ソリューション	26	18	△29.3%	154	11.7%
	セキュリティ	△1	6	—	82	7.3%
	DX開発	△11	△20	—	△10	—
ICT	システム構築	20	69	+236.6%	402	17.2%
	システム運用	149	172	+15.2%	632	27.2%
ライフサイエンス		58	57	△0.7%	250	22.8%
その他		△3	△4	—	30	—
全社		△179	△205	—	△861	—
合計		57	92	+60.3%	680	13.5%

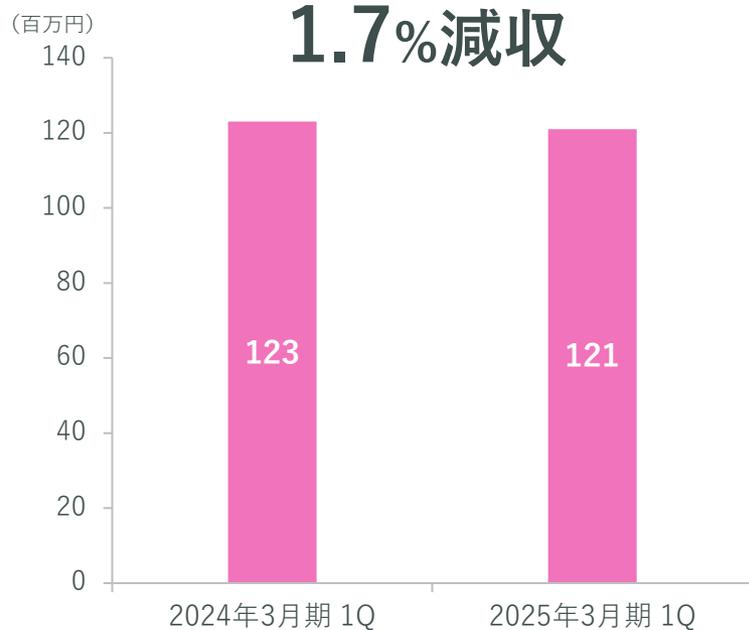
セグメント別業績推移



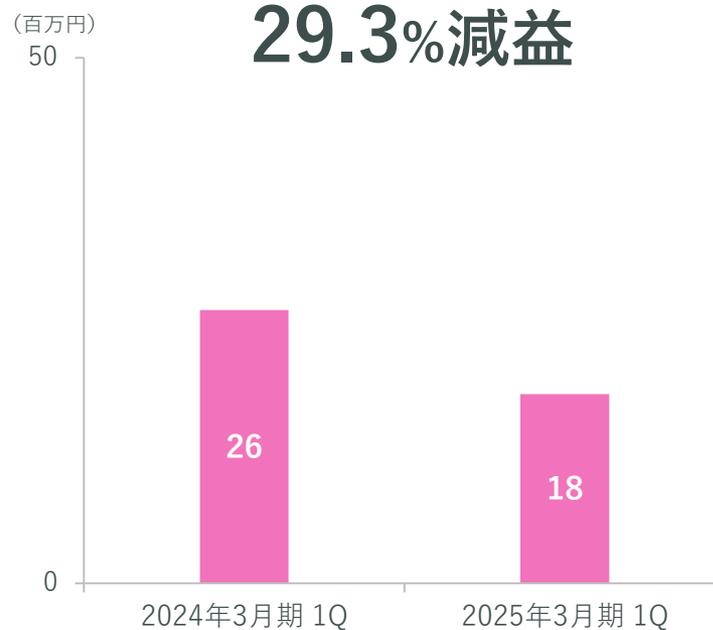
デジタルイノベーション 人材育成ソリューション

- ITメーカーからのトレーニング請負は、減少が続く
- Learning Boosterの機能拡充を図りつつ、通期業績達成に向けた新規顧客開拓に注力

売上高



営業利益



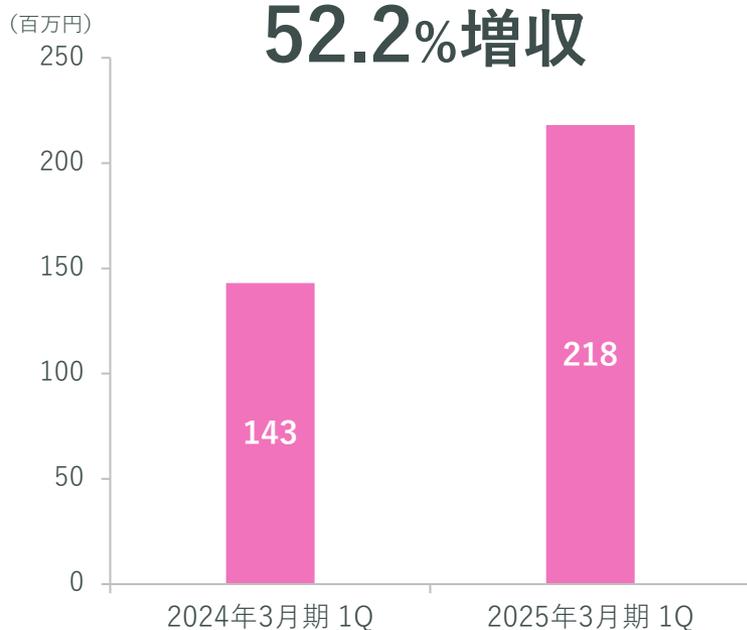
セグメント別業績推移



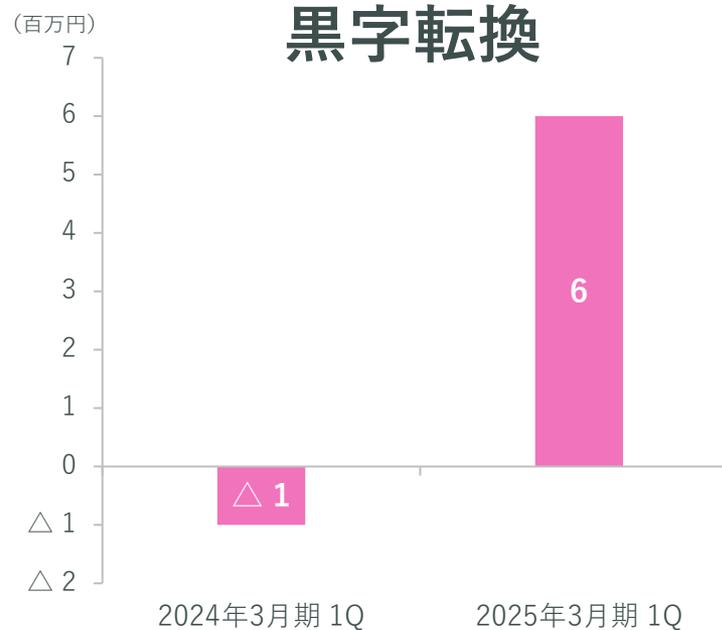
デジタルイノベーション セキュリティ

- 内部脅威対策サービスが順調に拡大
- セキュリティトレーニングサービスも好調に推移し、増収増益

売上高



営業利益



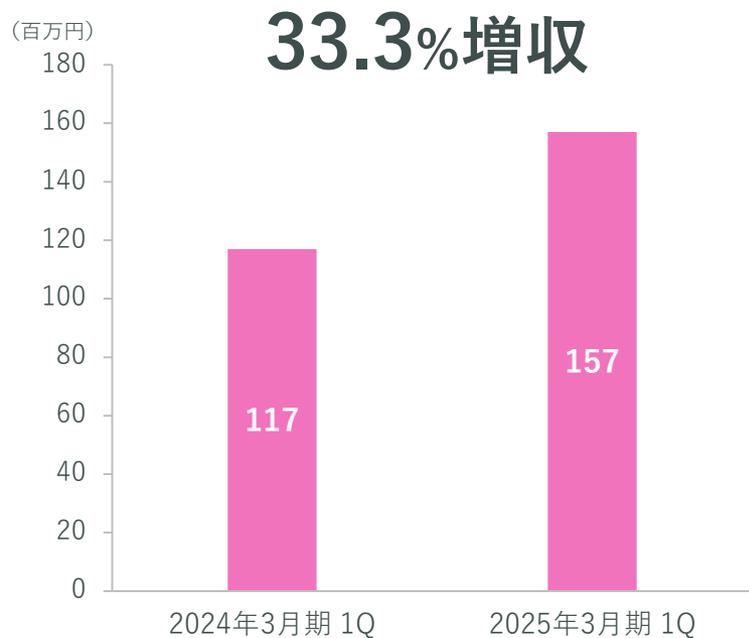
セグメント別業績推移



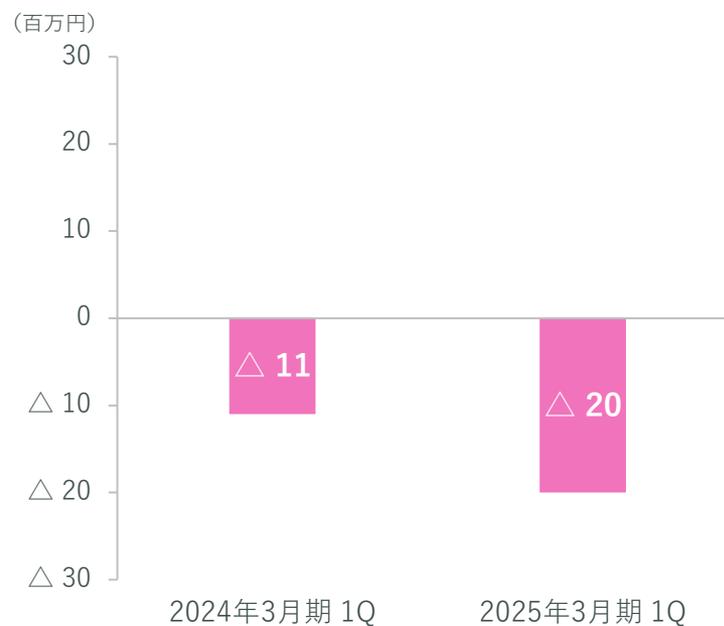
デジタルイノベーション DX開発

- 生成AI関連サービスが伸長し増収
- 自社ソリューションの開発投資が増加したことにより減収

売上高



営業利益



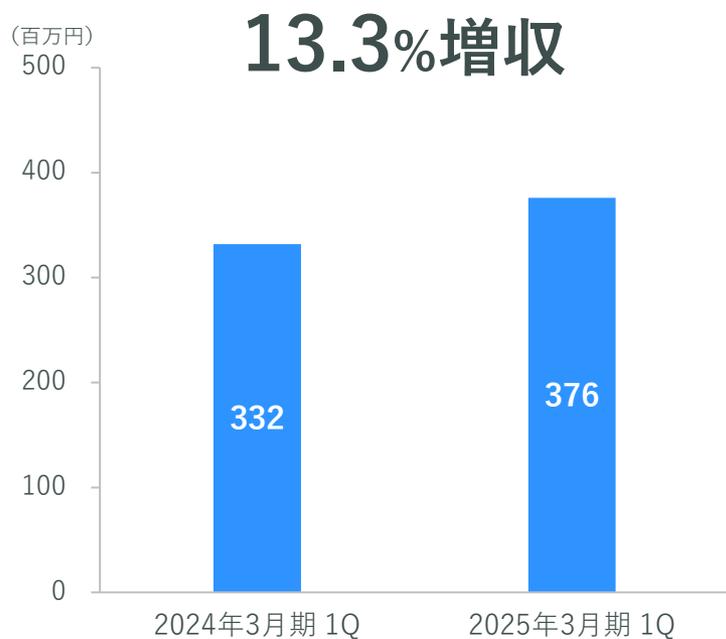
セグメント別業績推移



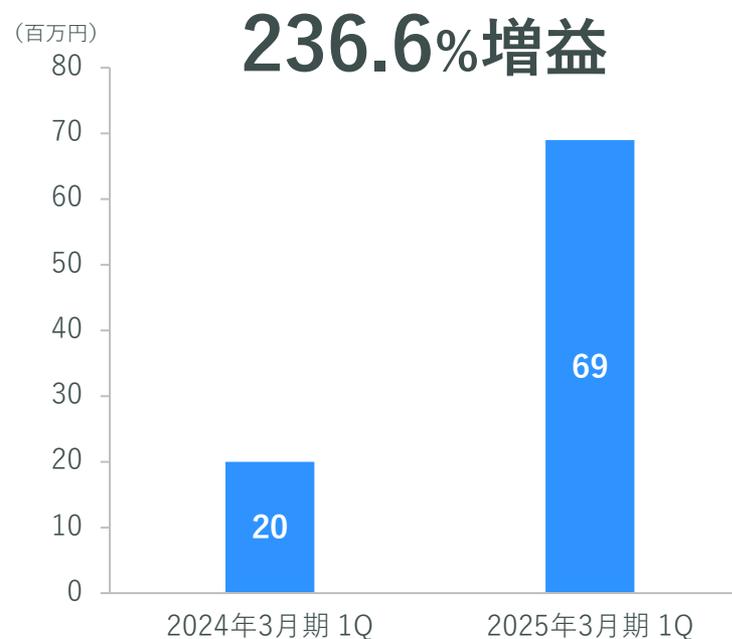
ICT システム構築

- 大手ユーザーとの直接取引のクラウド関連案件の拡大が寄与し増収
- エンジニアの稼働率が改善したことにより増益

売上高



営業利益



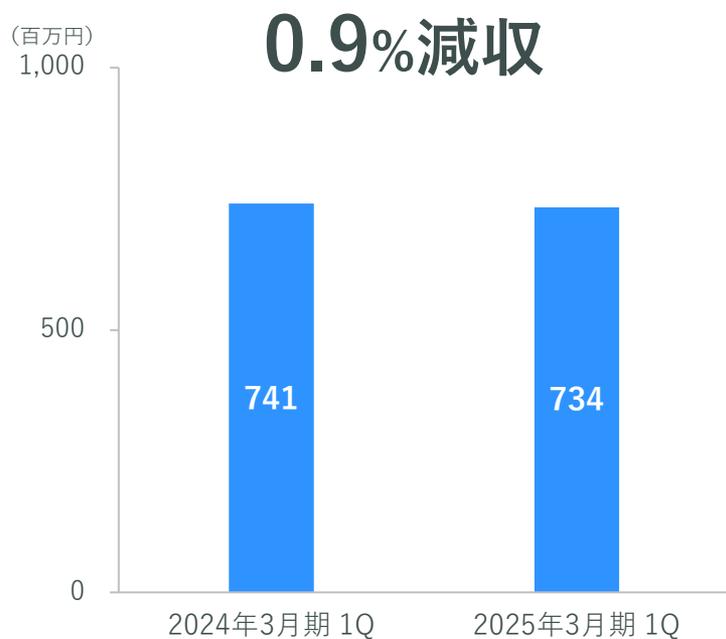
セグメント別業績推移



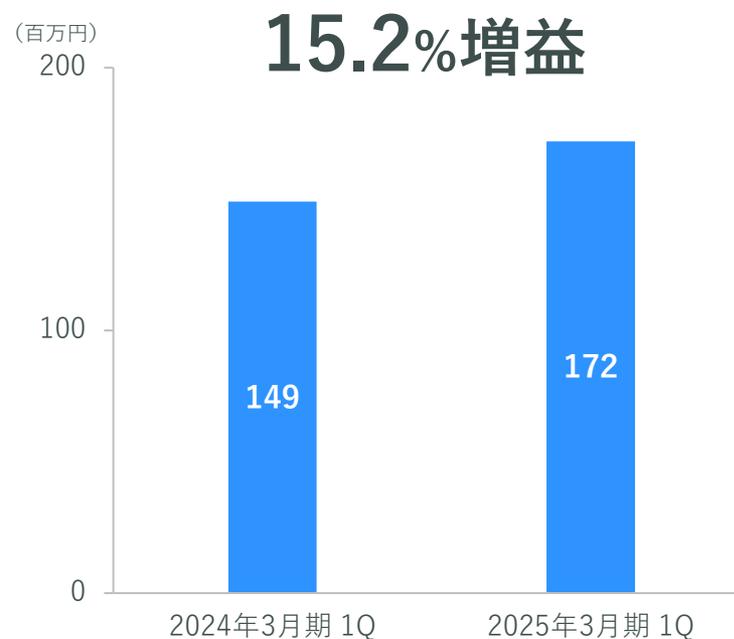
ICT システム運用

- 一部スポット案件の減少に対して、エンドユーザとの直接取引形態のクラウド運用サービス「Kyrios（キリオス）」が伸長により、前期比で減収増益

売上高



営業利益



セグメント別業績推移

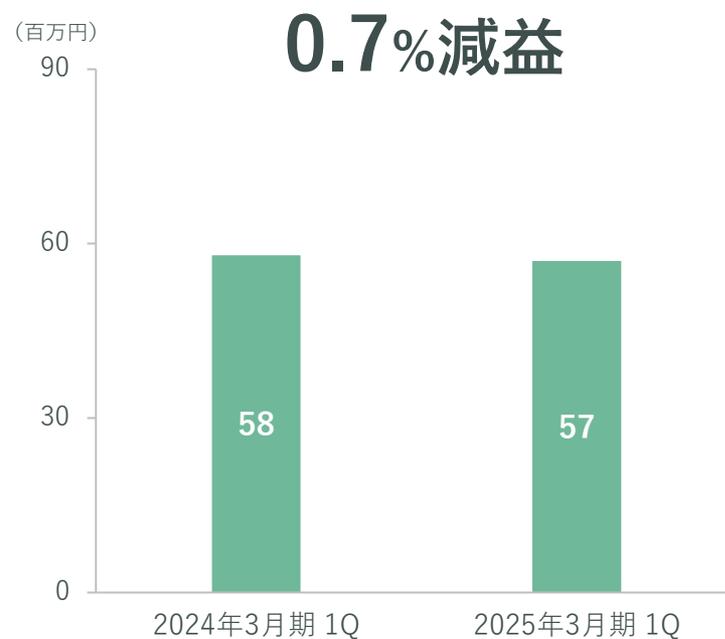
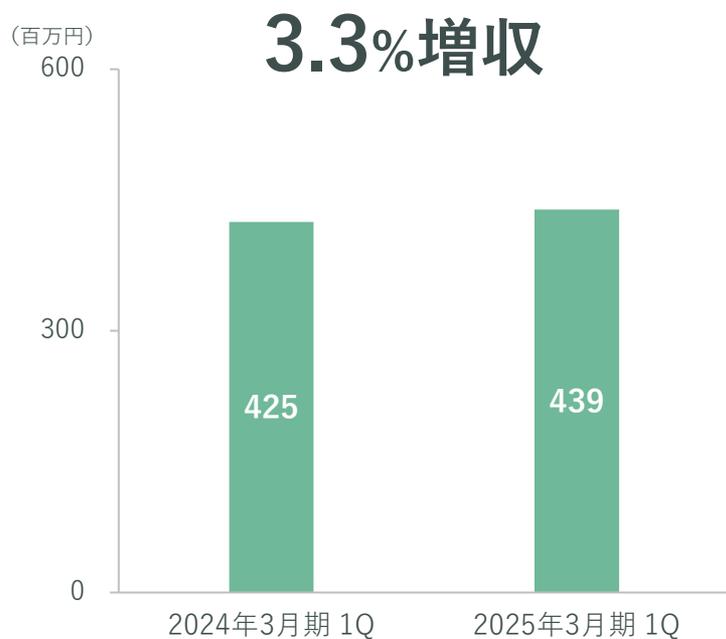


ライフサイエンス

- 保守サービスは例年とおりの稼働率で推移、コンサルティングサービスも安定的に顧客を獲得し増収
- ICTサービスは、事業拡大に向けて営業・マーケティング活動に注力

売上高

営業利益



セグメント別業績推移

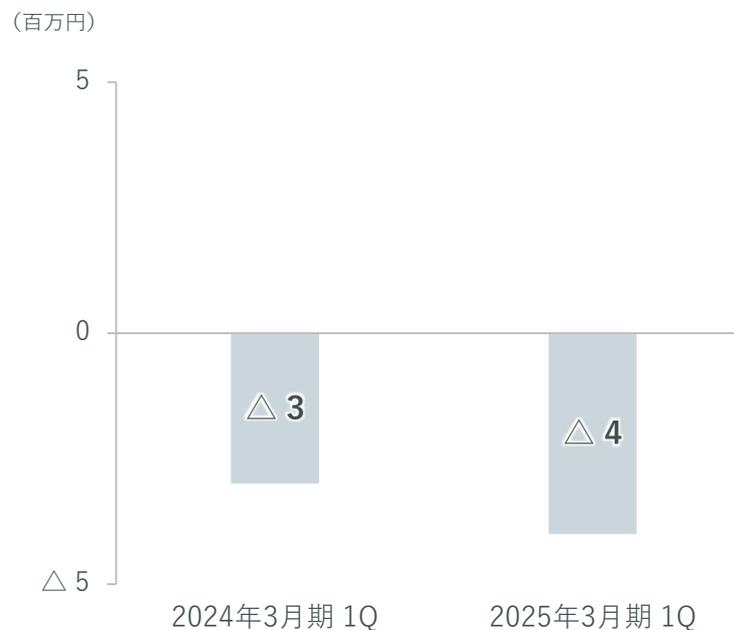
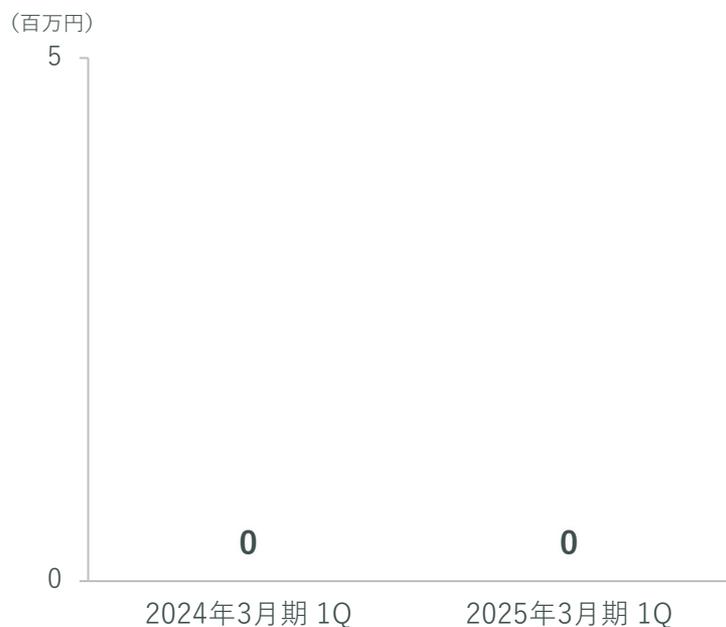


その他（海外事業）

- グローバル人材紹介サービス「Reinforce HR（レインフォースエイチアール）」の人材採用関連コストが増加、下期の売上計上を見込む

売上高

営業利益



セグメント別業績推移



全社

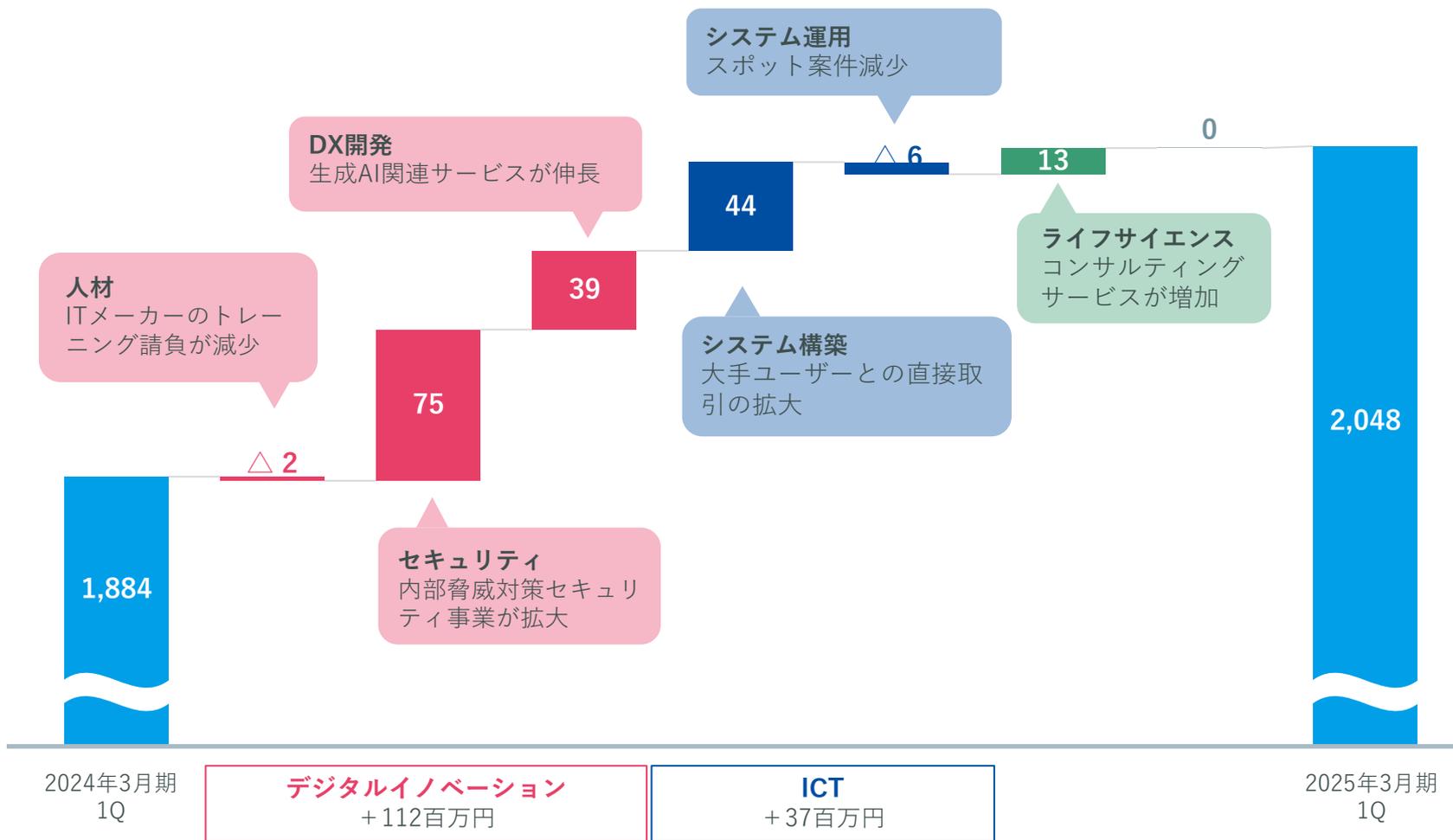
- 人材採用数が増加したことに伴い、費用が増加

営業利益

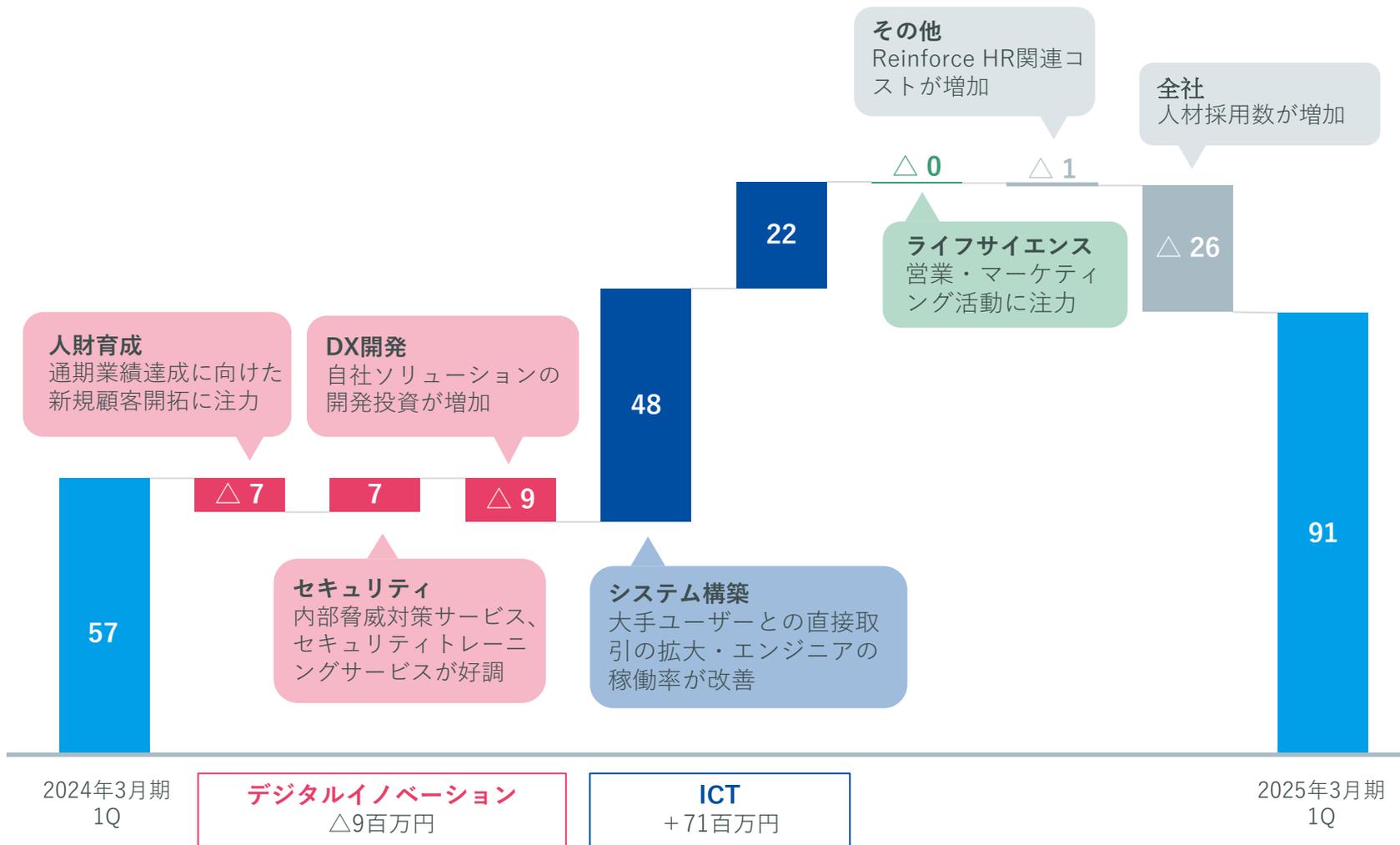
(百万円)



売上高（増減分析）



営業利益（増減分析）



III. トピックス



2025年3月期第1四半期 トピックス①



ICT
構築・運用

ガバメントクラウドの導入支援を行う
統合運用管理補助者向けサービス
「ガバクラ支援ソリューション」を提供開始

ガバメントクラウド

デジタル庁主導の政府共通の
クラウドサービスの利用環境

- 政府機関・地方自治体のシステムをクラウドサービスに移行することを推進
- 2025年度末までの導入が努力義務

JTP 提供サービス

【対象】 ガバメントクラウドの統合運用管理補助者を担うSIer企業

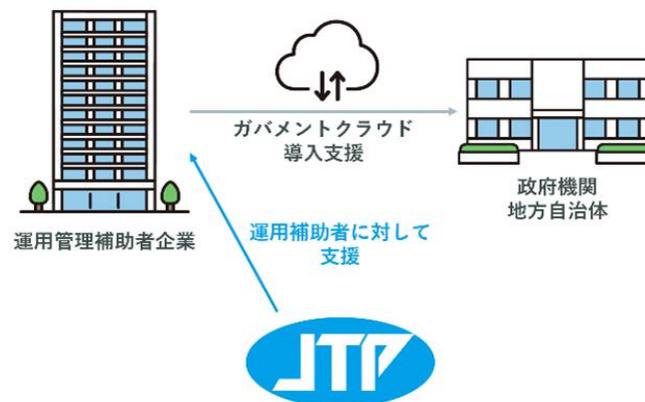
統合運用管理補助者支援サービス

- 移行設計・構築および運用管理を支援

人財育成サービス

- クラウド利用の初心者向けに知識習得から技術者支援まで幅広く支援

Kyrios ガバクラ支援ソリューション



統合運用管理補助者支援サービス

- ガバクラ移行設計・構築
- 総合運用管理補助業務支援

人財育成サービス

- IT技術者教育プラン
- クラウド技術者育成プラン



2025年3月期第1四半期 トピックス②



臨床検査室の信頼性を証明するISO15189に準拠した
「環境モニタリングシステム」の
導入・運用支援サービスを提供開始

サービス提供の背景

医療技術の進展とともに、臨床検査の正確性と信頼性がますます重要に

- ISO15189の取得
⇒ 臨床検査室が国際的な基準に則っていることの証明
厳密な環境条件の管理が不可欠

ISO15189

国際標準化機構 (ISO) によって 制定された国際規定

- 臨床検査室が提供する検査結果の品質と信頼性を確保するための要件を設定

検査室の運営体制

技術的能力

検査データの正確性

検査データの一貫性

設備の適切な管理

…多岐にわたる項目

国際標準に対応した品質管理を行っている臨床検査室であると証明



化学分析機器サポートの豊富な実績で
臨床検査室の品質と能力を確保するための支援を実施

【対象】 臨床検査室をもつ医療機関や検査センター

環境モニタリングシステム「testo Saveris 1」の導入から運用までを
ワンストップで対応し、システムの安定した稼働を支援

testo Saveris 1

- 検査環境や試薬・検体などの保管環境をモニタリングするシステムを提供



専門知識

一貫した
サポート

安心の保証

リアルタイムモニタリング

データロギング

レポート作成

- 株式会社テストーとの戦略的パートナーシップを構築

テストー社
・ 製品の国内販売から、修理・校正、バリデーションサービス等を提供
・ 日本国内では環境測定専門メーカー



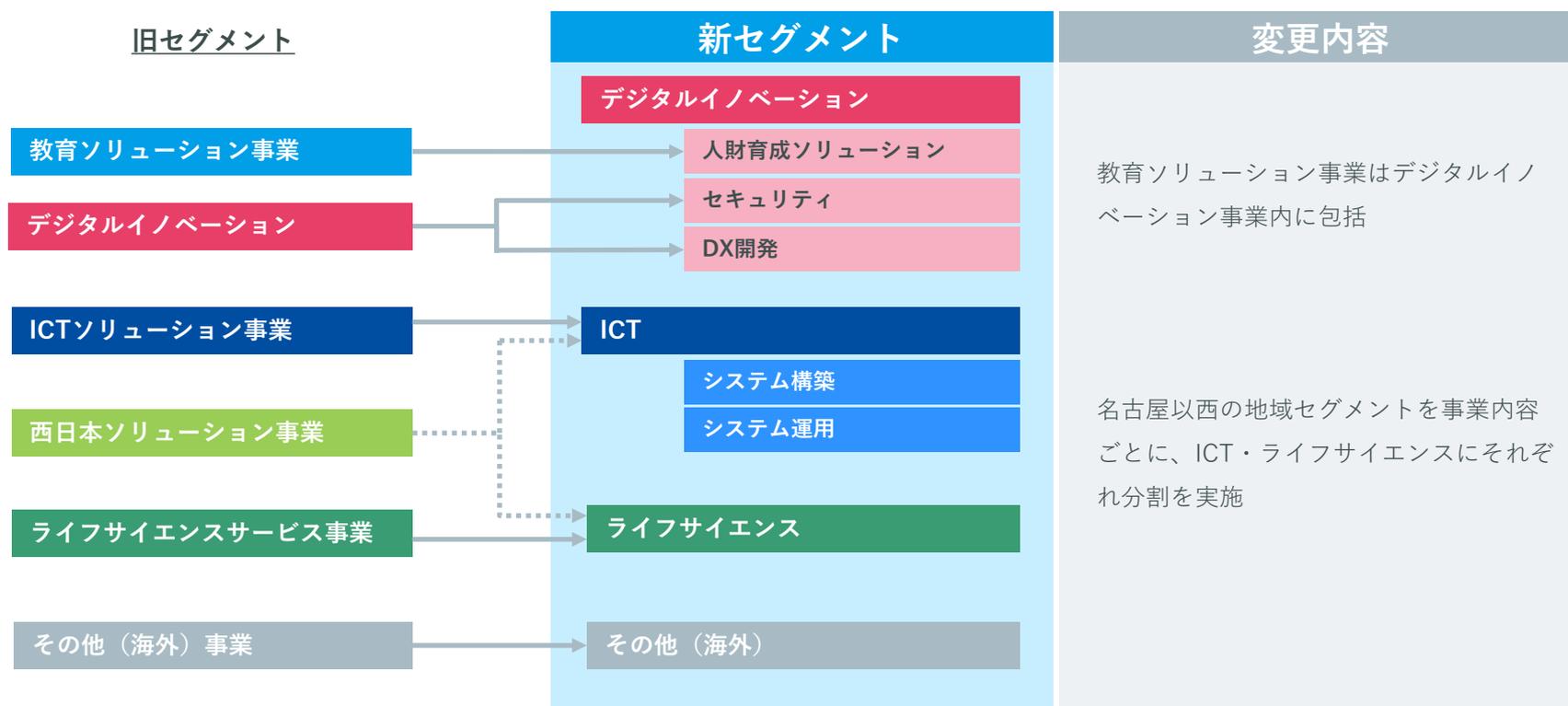
IV. 補足資料



事業セグメント変更



知恵を集約化し顧客ニーズに対応するため、4つの事業セグメントへ変更



ストック型・フロー型ビジネス



セグメント別ビジネスモデルの 売上状況		2023年3月期		2024年3月期		ストックビジネスの定義
		売上構成比		売上構成比		
		ストック	フロー	ストック	フロー	
(単位：%)						
デジタル イノベーション	人財育成 ソリューション	66%	34%	70%	30%	自社サービス（GAIT/Learning Booster）と一部アウトソーシング 契約
	セキュリティ	100%	0%	100%	0%	内部脅威対策関連サービス
	DX開発	90%	10%	100%	0%	ThirdAI関連サービス
ICT	システム構築	13%	87%	16%	84%	一部期間固定契約
	システム運用	100%	0%	100%	0%	ICTシステムの常駐運用サービス、 Kyriosサービス
ライフサイエンス		5%	95%	3%	97%	医療ICTの一部直接契約
その他		-	-	0	100%	



過去5期指標推移

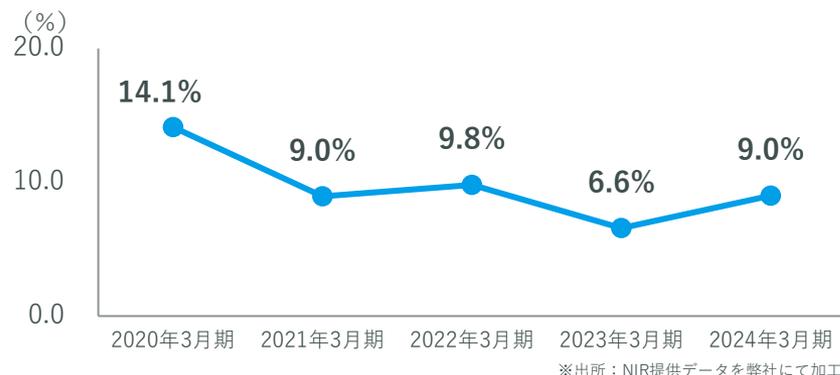


直近5期で、一定の自己資本比率を維持しながら、着実に利益を生む体質を構築。今後もこの水準を維持していく方針

ROE（自己資本利益率）



ROA（総資産利益率）



総資産・純資産・自己資本比率 (%)



当期純利益



※当社は2024年3月期より単体財務諸表となっておりますので、参考比較となります



会社概要



会社名	JTP株式会社 JTP Co.,Ltd.
本社	東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー 14階
国内拠点	栃木、東京(本社)、大阪、福岡
海外拠点	インド支店
施設	トレーニングセンター ・ 御殿山トレーニングセンター (東京・品川) テクニカルラボセンター ・ 東京テクニカルラボセンター (東京・三田) ・ 関西事業所テクニカルセンター (大阪・吹田)
資本金	795,475,000円
設立	1987年10月31日
従業員	470名(2024年4月1日現在)
上場市場	東京証券取引所スタンダード 証券コード：2488 (2006年6月上場)
認定パートナー	Amazon Web Services APN アドバンスドコンサルティングパートナー IBM Silver Business Partner Microsoft Cloud Platform Gold コンピテンシー SoftBank AI エコシステム・パートナー LINE 公式パートナー



沿革



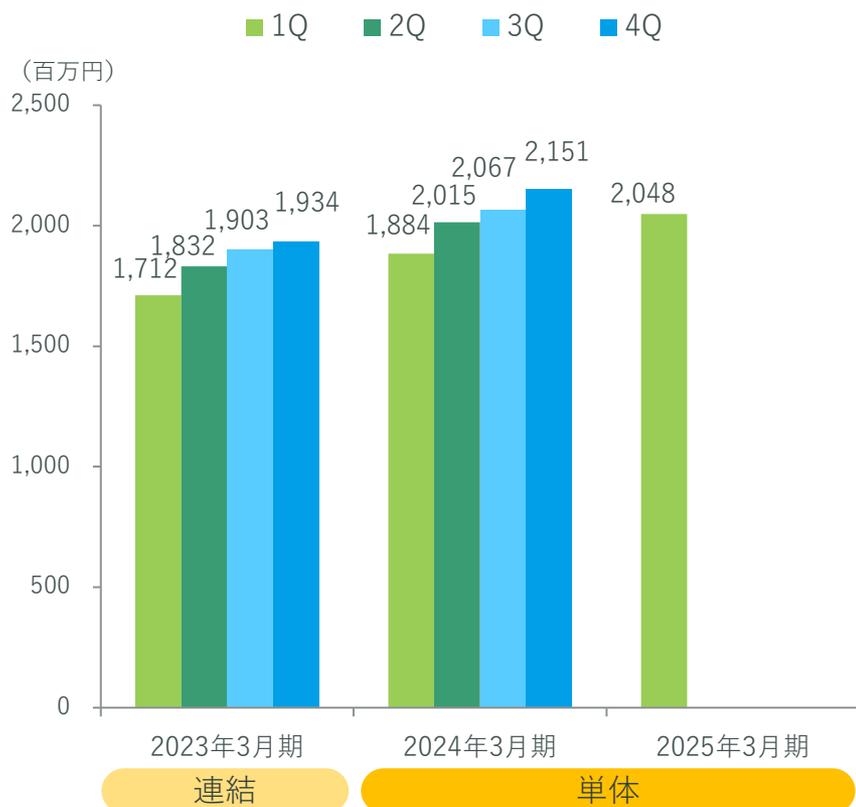
1987年	10月	日本サード・パーティ株式会社 設立
1992年	4月	本社にトレーニングセンターを設置、教育事業に進出
1994年	7月	東京テクニカルセンターを設置（現：東京テクニカルラボセンター）
1994年	11月	ライフサイエンス部門で化学分析機器サービス事業に進出
2003年	3月	ライフサイエンス部門で医療機器サービス事業に進出
2006年	6月	ジャスダック証券取引所に株式を上場
2011年	8月	ライフサイエンス部門で放射線事業（放射性物質測定機器の取り扱い）を開始
2012年	1月	放射能プレミアムドックセンターを開設
2012年	10月	世界標準のITスキルアセスメントテスト「GAIT」の提供を開始
2013年	6月	デジタルマーケティング事業に進出、「Wayin（ウェイイン）」の提供を開始
2014年	11月	グローバルIT人材育成支援の一環として、全国統一学生ICTテストにGAITの提供を開始
2015年	1月	ロボティクス事業に進出、ヒューマノイドロボット「NAO」に関するサービスを開始
2016年	11月	JTPインテグレーションセンターを開設
2017年	6月	AI事業に進出、「Third AI（サードアイ）」の提供を開始
2019年	4月	インド支店を開設し、インドでの事業展開を開始
2020年	5月	日商エレクトロニクス株式会社と資本業務提携を開始
2020年	12月	アースアイズ株式会社と資本業務提携を開始
2021年	4月	社名を「JTP株式会社」に変更



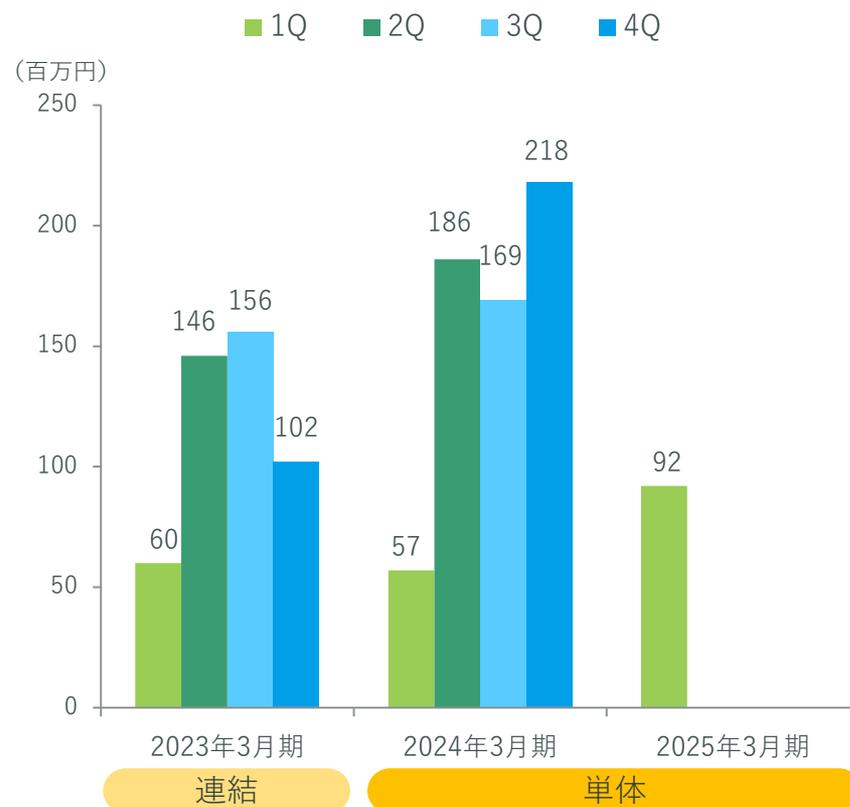
四半期別売上高・営業利益推移



売上高



営業利益



※当社は2024年3月期より単体財務諸表となっておりますので、参考比較となります



財務データ推移



(単位：百万円)

	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3
売上高	4,708	4,661	4,743	4,634	4,748	5,472	6,245	6,310	7,040	7,381	8,119
売上原価・ 営業原価	3,955	3,902	3,918	3,731	3,746	4,408	4,998	5,197	5,818	6,046	6,584
売上総利益	753	759	824	902	1,001	1,063	1,246	1,112	1,221	1,335	1,534
販売費及び 一般管理費	672	582	587	707	749	824	775	761	785	870	903
営業利益	81	177	237	195	251	238	470	351	435	464	631
経常利益	89	191	234	136	258	247	483	382	470	476	665
当期純利益	14	90	81	3	184	154	309	267	253	315	482

※当社は2024年3月期より単体財務諸表となっておりますので、参考比較となります



Connect to the Future

JTP 株式会社

この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります



© JTP Co., Ltd. All Rights Reserved.